

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 6 部門第 3 区分
 【発行日】平成 19 年 12 月 6 日 (2007.12.6)

【公開番号】特開 2002-133406 (P2002-133406A)
 【公開日】平成 14 年 5 月 10 日 (2002.5.10)
 【出願番号】特願 2000-320097 (P2000-320097)
 【国際特許分類】

G 0 6 T 1/60 (2006.01)
H 0 4 N 5/225 (2006.01)
H 0 4 N 5/907 (2006.01)
H 0 4 N 5/91 (2006.01)
H 0 4 N 5/765 (2006.01)
 H 0 4 N 101/00 (2006.01)

【F I】

G 0 6 T 1/60 4 5 0 E
 H 0 4 N 5/225 F
 H 0 4 N 5/907 B
 H 0 4 N 5/91 J
 H 0 4 N 5/91 L
 H 0 4 N 101:00

【手続補正書】
 【提出日】平成 19 年 10 月 19 日 (2007.10.19)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書
 【補正対象項目名】発明の名称
 【補正方法】変更

【補正の内容】
 【発明の名称】デジタル情報入力システム

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書
 【補正対象項目名】特許請求の範囲
 【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】 情報をデジタル化する情報生成装置と、該情報生成装置からの情報を収集して処理し、保存し、管理する情報処理装置を備えたデジタル情報入力システムにおいて、

前記情報生成装置は各種の情報を示すイベントを発生するイベント発生手段を備え、

前記情報処理装置は、前記イベントを受けて前記情報生成装置へのアクセスを制御するイベント制御手段を備え、

前記情報処理装置が、前記情報生成装置に対してアクセスが必要な場合は、前記イベント発生手段により前記情報処理装置が動作の分岐を識別可能なイベントを生成することを特徴とするデジタル情報入力システム。

【請求項 2】 前記情報生成装置は、内蔵する第 1 の情報記憶装置及び着脱可能な第 2 の記憶装置の少なくとも一方を有するものであり、

前記第 1 の記憶装置及び第 2 の記憶装置に記録されたデータが前記情報処理装置及び前記情報生成装置のいずれか一方によって消去され、変更され、追加された場合に、前記イベント発生手段が情報の変化を示す記録情報 Data Update イベントを生成し、

前記情報処理装置は、前記記録情報 Data Update イベントを受けて前記情報生成装置内部の前記第 1 の情報記憶装置若しくは第 2 の記憶装置に記憶したデータを読み込む手段を有するものであることを特徴とする請求項 1 記載のデジタル情報入力システム。

【請求項 3】 前記情報生成装置は、内蔵する第 1 の情報記憶装置及び着脱可能な第 2 の記憶装置の少なくとも一方と、前記第 1 の記憶装置及び第 2 の記憶装置に記録されたデータが前記情報処理装置及び前記情報生成装置のいずれか一方によって消去され、変更され、追加された場合に、前記イベント発生手段が生成する、情報の変化を示す記録情報 Data Update イベントに前記消去され、変更され、追加されたデータを特定するデータ特定パラメータを付加する手段とを備えたものであり、

前記情報処理装置は、前記データ特定パラメータが付加された記録情報 Data Update イベントを受けて、前記特定されたデータのみを更新するデータ更新手段を備えたものであることを特徴とする請求項 1 又は 2 記載のデジタル情報入力システム。

【請求項 4】 前記情報処理装置は、該情報処理装置若しくは前記情報生成装置のいずれか一方によって、前記情報生成装置内部に情報を入力するための各種設定に変更がされた場合に、前記イベント発生手段により生成された情報入力設定 Data Update イベントを受けて前記情報生成装置内部の前記撮影設定を読み込む手段を備えたことを特徴とする請求項 1 乃至 3 のいずれか 1 項に記載のデジタル情報入力システム。

【請求項 5】 前記情報生成装置は、前記情報入力のための各種設定に変更がなされた場合に、前記イベント発生手段によって、情報入力のための各種設定に変更を示す情報入力設定イベントが生成され、該情報入力設定イベントにどの撮影設定項目に変更が生じたかを特定できる項目特定パラメータを付加する手段を備えたものであり、

前記情報処理装置は、前記項目特定パラメータが付加された前記情報入力設定イベントを受けて、前記特定された撮影設定項目のみを読み込む撮影設定項目読み込み手段を備えたことを特徴とする請求項 4 記載のデジタル情報入力システム。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0001

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0001】

【発明の属する技術分野】

本発明は、動画や静止画を撮影するデジタルカメラシステム等のデジタル情報入力システムに関する。

【手続補正 4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0017

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 5】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0018

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 6】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0019

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 7】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】 0 0 2 0
【補正方法】 削除
【補正の内容】
【手続補正 8】
【補正対象書類名】 明細書
【補正対象項目名】 0 0 2 1
【補正方法】 削除
【補正の内容】
【手続補正 9】
【補正対象書類名】 明細書
【補正対象項目名】 0 0 2 2
【補正方法】 削除
【補正の内容】
【手続補正 1 0】
【補正対象書類名】 明細書
【補正対象項目名】 0 0 2 3
【補正方法】 削除
【補正の内容】
【手続補正 1 1】
【補正対象書類名】 明細書
【補正対象項目名】 0 0 2 4
【補正方法】 削除
【補正の内容】
【手続補正 1 2】
【補正対象書類名】 明細書
【補正対象項目名】 0 0 2 5
【補正方法】 削除
【補正の内容】
【手続補正 1 3】
【補正対象書類名】 明細書
【補正対象項目名】 0 0 2 6
【補正方法】 削除
【補正の内容】
【手続補正 1 4】
【補正対象書類名】 明細書
【補正対象項目名】 0 0 2 7
【補正方法】 削除
【補正の内容】
【手続補正 1 5】
【補正対象書類名】 明細書
【補正対象項目名】 0 0 2 8
【補正方法】 削除
【補正の内容】
【手続補正 1 6】
【補正対象書類名】 明細書
【補正対象項目名】 0 0 2 9
【補正方法】 削除
【補正の内容】
【手続補正 1 7】
【補正対象書類名】 明細書

【補正対象項目名】 0 0 3 0
【補正方法】 削除
【補正の内容】
【手続補正 1 8】
【補正対象書類名】 明細書
【補正対象項目名】 0 0 3 1
【補正方法】 削除
【補正の内容】
【手続補正 1 9】
【補正対象書類名】 明細書
【補正対象項目名】 0 0 3 2
【補正方法】 削除
【補正の内容】
【手続補正 2 0】
【補正対象書類名】 明細書
【補正対象項目名】 0 0 3 3
【補正方法】 削除
【補正の内容】
【手続補正 2 1】
【補正対象書類名】 明細書
【補正対象項目名】 0 0 3 4
【補正方法】 削除
【補正の内容】
【手続補正 2 2】
【補正対象書類名】 明細書
【補正対象項目名】 0 0 3 5
【補正方法】 削除
【補正の内容】
【手続補正 2 3】
【補正対象書類名】 明細書
【補正対象項目名】 0 0 3 6
【補正方法】 削除
【補正の内容】
【手続補正 2 4】
【補正対象書類名】 明細書
【補正対象項目名】 0 0 3 7
【補正方法】 削除
【補正の内容】
【手続補正 2 5】
【補正対象書類名】 明細書
【補正対象項目名】 0 0 3 8
【補正方法】 削除
【補正の内容】
【手続補正 2 6】
【補正対象書類名】 明細書
【補正対象項目名】 0 0 3 9
【補正方法】 削除
【補正の内容】
【手続補正 2 7】
【補正対象書類名】 明細書

【補正対象項目名】 0 0 4 0
【補正方法】 削除
【補正の内容】
【手続補正 2 8】
【補正対象書類名】 明細書
【補正対象項目名】 0 0 4 1
【補正方法】 削除
【補正の内容】
【手続補正 2 9】
【補正対象書類名】 明細書
【補正対象項目名】 0 0 4 2
【補正方法】 削除
【補正の内容】
【手続補正 3 0】
【補正対象書類名】 明細書
【補正対象項目名】 0 0 4 3
【補正方法】 削除
【補正の内容】
【手続補正 3 1】
【補正対象書類名】 明細書
【補正対象項目名】 0 0 4 4
【補正方法】 削除
【補正の内容】
【手続補正 3 2】
【補正対象書類名】 明細書
【補正対象項目名】 0 0 4 5
【補正方法】 削除
【補正の内容】
【手続補正 3 3】
【補正対象書類名】 明細書
【補正対象項目名】 0 0 4 6
【補正方法】 削除
【補正の内容】
【手続補正 3 4】
【補正対象書類名】 明細書
【補正対象項目名】 0 0 4 7
【補正方法】 削除
【補正の内容】
【手続補正 3 5】
【補正対象書類名】 明細書
【補正対象項目名】 0 0 4 8
【補正方法】 削除
【補正の内容】
【手続補正 3 6】
【補正対象書類名】 明細書
【補正対象項目名】 0 0 4 9
【補正方法】 削除
【補正の内容】
【手続補正 3 7】
【補正対象書類名】 明細書

【補正対象項目名】 0 0 5 0

【補正方法】 削除

【補正の内容】

【手続補正 3 8】

【補正対象書類名】 明細書

【補正対象項目名】 0 0 5 1

【補正方法】 削除

【補正の内容】

【手続補正 3 9】

【補正対象書類名】 明細書

【補正対象項目名】 0 0 5 2

【補正方法】 削除

【補正の内容】

【手続補正 4 0】

【補正対象書類名】 明細書

【補正対象項目名】 0 0 5 3

【補正方法】 削除

【補正の内容】

【手続補正 4 1】

【補正対象書類名】 明細書

【補正対象項目名】 0 0 5 7

【補正方法】 変更

【補正の内容】

【 0 0 5 7】

デジタルカメラ 1 0 0 はレンズ、C C D、駆動回路等を含んだ光学ユニット 1 0 5、画像データ等処理する信号処理回路 1 0 4、C P U等の演算装置 1 0 3、D R A M等の 1 次記憶装置 1 0 6、内蔵フラッシュ R O M等の 2 次記憶装置 1 0 7、操作部材 1 0 8、L C D 液晶等の表示装置 1 0 9、プログラム格納等に使用される R O M等の読み出し専用メモリー 1 1 0、コンパクトフラッシュ（登録商標）メモリーカード等の着脱可能記録媒体 1 1 1、P Cとの接続を管理する通信制御装置 1 0 2 等から構成される。

【手続補正 4 2】

【補正対象書類名】 明細書

【補正対象項目名】 0 0 5 8

【補正方法】 変更

【補正の内容】

【 0 0 5 8】

デジタルカメラの種類によっては着脱可能な記憶媒体 1 1 1 だけを備えてもよいし、着脱不可能な内蔵フラッシュ R O M等の 2 次記憶装置 1 0 7 だけを使用するものであってもよい。

【手続補正 4 3】

【補正対象書類名】 明細書

【補正対象項目名】 0 0 6 0

【補正方法】 変更

【補正の内容】

【 0 0 6 0】

デジタルカメラ 2 0 1 を P C に U S B 接続すると、P C 上にアプリケーションが起動し、デジタルカメラ 2 0 1 の内蔵フラッシュ R O M等の 2 次記憶装置 1 0 7 若しくは着脱可能記録媒体 1 1 1 内に記録されている画像データを P C 上に転送し、サムネール表示する。すなわち、アプリケーション 2 0 2 は、接続されているデジタルカメラが内部に保持しているデータを参照して表示に活用しており、このデジタルカメラ内部のデータに変更が

加えられた時点で、この表示を更新する。

【手続補正 4 4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 1 4 2

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 1 4 2】

【発明の効果】

本発明によれば、動画、静止画を主に撮影するデジタルカメラシステム等のデジタル情報入力システムにおいて、特に、P C（パーソナルコンピュータ）とデジタルカメラ等の入力装置からなるシステムを構築する際に、デジタルカメラのような入力装置と、P Cのような処理装置を接続していることによる制約を最小限にできる。従って、P C上のアプリケーションからデジタルカメラを操作して画像等のデータを入力したり、表示したり、またはデジタルカメラ本体をユーザーが操作してP C上のアプリケーションに入力したり表示したりすることがシームレスに扱えることとなる。